

今週の話題

ボストンの自転車利用状況

最近ボストンに列車で行くようになって気がついたことですが、ボストン市内での自転車利用環境は、東京のような日本の大都市とは随分違っているようです。ボストンは、日本では京都に相当する古都で、毎日多くの観光客が訪問しています。これらの観光客のために、ボストンでは様々な観光バスが市内を回っています。その多くは窓ガラスがないオープンな構造で、観光客は直に街の空気に触れることができます。有名なのが、通称ダックツアーと呼ばれる水陸両用車です。通常のバスより一回り大きいくらいの車体に、四つのタイヤの他にスクリュウが装備されており、観光客はダウンタウンの他に、ボストンの北側を流れるチャールズリバーからの景観を楽しむことができます。

一方、ボストンで注目したいのは、自転車での観光です。欧米では、エコロジー志向もあってか、ある程度体力のある人は自転車での観光を希望しています。小回りがきくし、自由度が大きいことが理由です。このような観光客のために、ボストン市内の主要な駅などにレンタル自転車のステーションが設置されていて、随時借り出すことができるようになっています。ステーションは無人で、セルフサービスです。利用者はペイステーションで、クレジットカードを使って支払いを済ませれば、希望の自転車を借り出すことができます。返却は他のステーションでもできます。参考までに、ボストン北駅の様子を写真を添付いたします。



確か東京でも同じようなサービスシステムの試みをしているのを見たことがあります。しかしながら、ボストンの方がはるかにスマートで、規模が大きいようです。システムの電源には太陽電池が使われています。利用率も高いようで、私がその場にいた20分足らずのうちに、2、3人の利用者が借りて行きました。

残念ながら、システム全体のメーカーは確認できませんでしたが、ペイステーションの設計が似ているので、カナダのメーカーだと思います。このようなシステムの技術的なハードルはそれほど高いとは思えません。しかし、このような分野では日本メーカーはなかなか入り込めないようです。

ところで、私が住んでいる町からボストンまでは、通勤列車で1時間強かかります。この通勤列車には、自分の自転車の持ち込みが可能で（ラッシュ時を除く）、結構利用者を見かけます。また、バスでも、自転車を装荷できるような装置を装備している例が少なくありません。個人用のRV車やキャンピングカーに複数の自転車を積んでいることは極めて一般的です。長距離や大人数での移動には、列車や大型車を使い、旅行先での細かい移動には自転車で、ということのようです。

車社会の先端を走っていて、エネルギー浪費大国のように理解されている米国の交通事情ですが、エコロジカルな自転車の利用でも進んでいる面が少なくありません。最近、日本でも大型のRV車が走っているのをよく見かけるようになりました。しかし自転車を積んでいるのを見かけることはほとんどありません。ソフト面、システム面での進歩が追いついていないように感じます。

DKNリサーチ、沼倉研史（マネージング・ディレクター）

今週のヘッドライン

2016年9月4日

1. Research & Markets（米国の市場調査会社）8／15

今後フレキシブルデバイスのRTTR印刷の市場は、年率11%以上で成長し、2022年には163億ドルに達すると予測。

2. Apple（米国のエレクトロニクス企業大手）8／16

アジアパシフィック地域で最初の研究開発センターを、今年末までに、中国に開設する計画。

3. Sanmina（米国のEMS大手）8／16

48百万ドルを投資して、メキシコに新工場を建設。自動車関連、通信機器などの需要を見込む。

4. ZD Technology（台湾のフレキシブル基板メーカー最大手）8／16

7月の出荷額は58.5億台湾ドルで、前月比6.9%の増加、前年同月比では4.2%の減少。iPhone 6sの不振が影響。

5. Canalys（市場調査会社）8／16

2016年における世界のスマートフォンの出荷は、前年比5%増の14億台にとどまると予測。

6. Digitimes (台湾の業界メディア) 8/16

台湾政府は、国内での材料、装置、デバイスの総合クラスター産業として、AMOLED、PMOLEDの開発事業化を積極的に推進する方針。

7. Cisco Systems (米国のエレクトロニクス大手) 8/17

需要の低迷に対応するために、全社の20%に当たる14000人の従業員をレイオフする方針。

8. UNSW (オーストラリアの大学) 8/17

携帯電話などのエレクトロニクス機器廃棄物から、貴金属を安全に抽出する技術を開発。

9. SEMI (米国の半導体業界団体) 8/16

2016年における世界の半導体製造装置の市場は前年比で1%の成長、材料は2%の成長を見込む。

10. Molex (米国のコネクタメーカー大手) 8/17

ウィスコンシン州で、医療用機器の、設計生産の受託生産を行う、Phillips-Medisize社を15百万ドルで買収。

11. Digitimes (台湾の業界メディア) 8/18

2016における世界の指紋センサーの市場は、前年比40%の成長。2017年には50%の成長を見込む。

12. Rogers (米国の基板材料メーカー) 8/18

これから成長が見込める5Gワイヤレスシステム用アンテナのために、低損失のアンテナグレードの材料を発表。

13. MIT (米国の工科大学) 8/12

携帯電子機器の制御用に、金箔を使って、一時的な入れ墨のような形態のフレキシブル回路を実現。

14. LG Electronics (韓国のエレクトロニクス大手) 8/17

スマートフォン用のICチップを自前で設計する方針。実際の生産は、米国のインテル社に委託。

15. University of Texas (米国の大学) 8/23

フレキシブルディスプレイ用に、安価でフレキシブルなスマートガラスを開発。

16. Reportbuyer (米国の市場調査会社) 8/22

世界の導電性インクの市場は、今後3.5%の成長率で増大し、2021年には、39億ドルに達すると予測。

17. Nanyang Technological University (シンガポール) 8/23

ウェアラブル・エレクトロニクスの電源として、伸び縮みし、柔軟性のある薄いスーパーコンデンサーを実現。

18. SEMI (米国の半導体製造装置業界団体) 8/23

7月における北米半導体製造装置産業のB/Bレシオは、0.05上昇して1.05。出荷は微減となるも、受注が増加。

19. TPCA (台湾の基板業界団体) 8/24

第3四半期における台湾ベースのプリント基板メーカーの出荷額は、前期比8.8%増加の1442億台湾ドルと予測。アップル社とサムスン社の需要が牽引。それでも前年同期比では2.9%の減少。

20. RnR Market Research (米国の市場調査会社) 8/26

2015年における世界の自動車用基板の市場は52.8億ドル、2016年は8.3%増の57.2億ドル、2017年は8.2%増の61.9億ドルと予測。

(注) このヘッドライン・ニュース・レターは速報性を重視するために、若干の誤訳や数字の変換に誤りがある場合もございます。ご了承下さい。

DKNリサーチ
栄泰産業株式会社

DKNリサーチのイベントスケジュール

* コンバーテック技術セミナー 2016年12月2日北トピア
「フレキシブル・エレクトロニクスとRTR生産」

最近のDKNリサーチの論文、出版物

下記URLを開けてみてください。最近のものの一覧をみることもできます。コピーライトの問題がないものは全文を閲覧することもできます。

<http://www.dknresearchllc.com/DKNRArchive/Newsletter/Newsletter.html>

<http://www.dknresearchllc.com/DKNRArchive/Articles/Articles.html>